

# 要配慮者利用施設の避難確保計画作成

令和7年8月

佐賀市総務部危機管理防災課

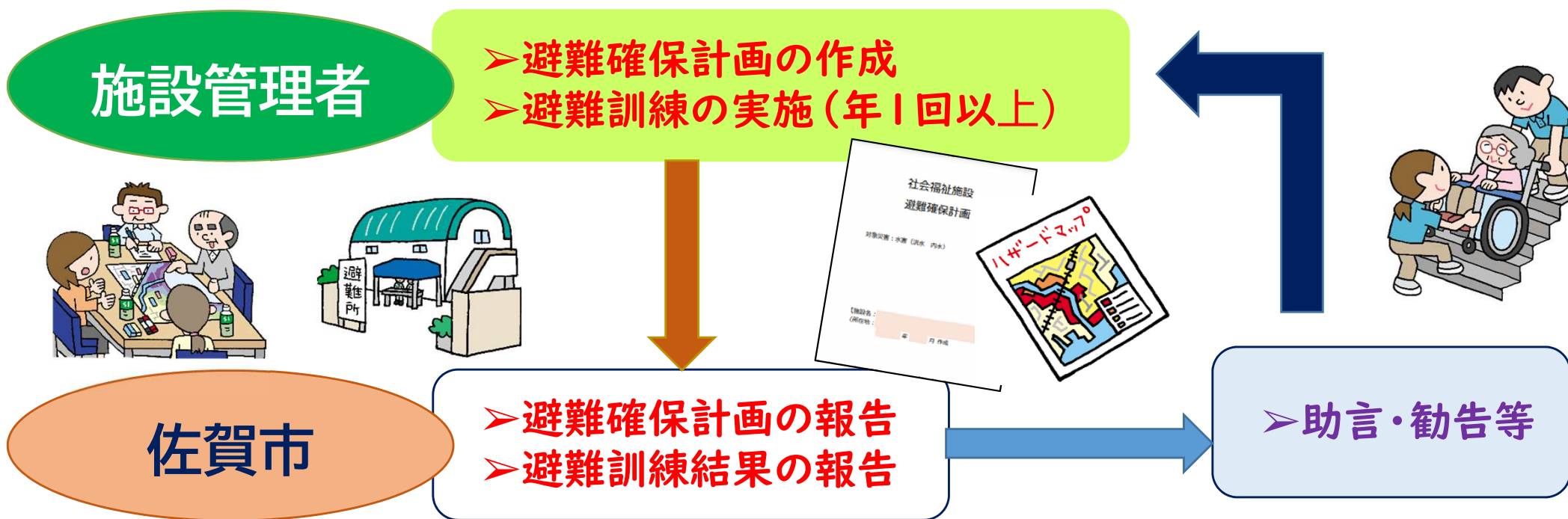
# 内 容

---

1. 要配慮者利用施設における避難確保の重要性
2. 避難確保計画作成のための事前準備
3. 避難確保計画(ひな形)の説明
4. 既存の計画に追加する形で避難確保計画作成する場合
5. 避難確保計画作成後の提出方法
6. 避難確保計画に基づく避難訓練の実施と報告書の提出

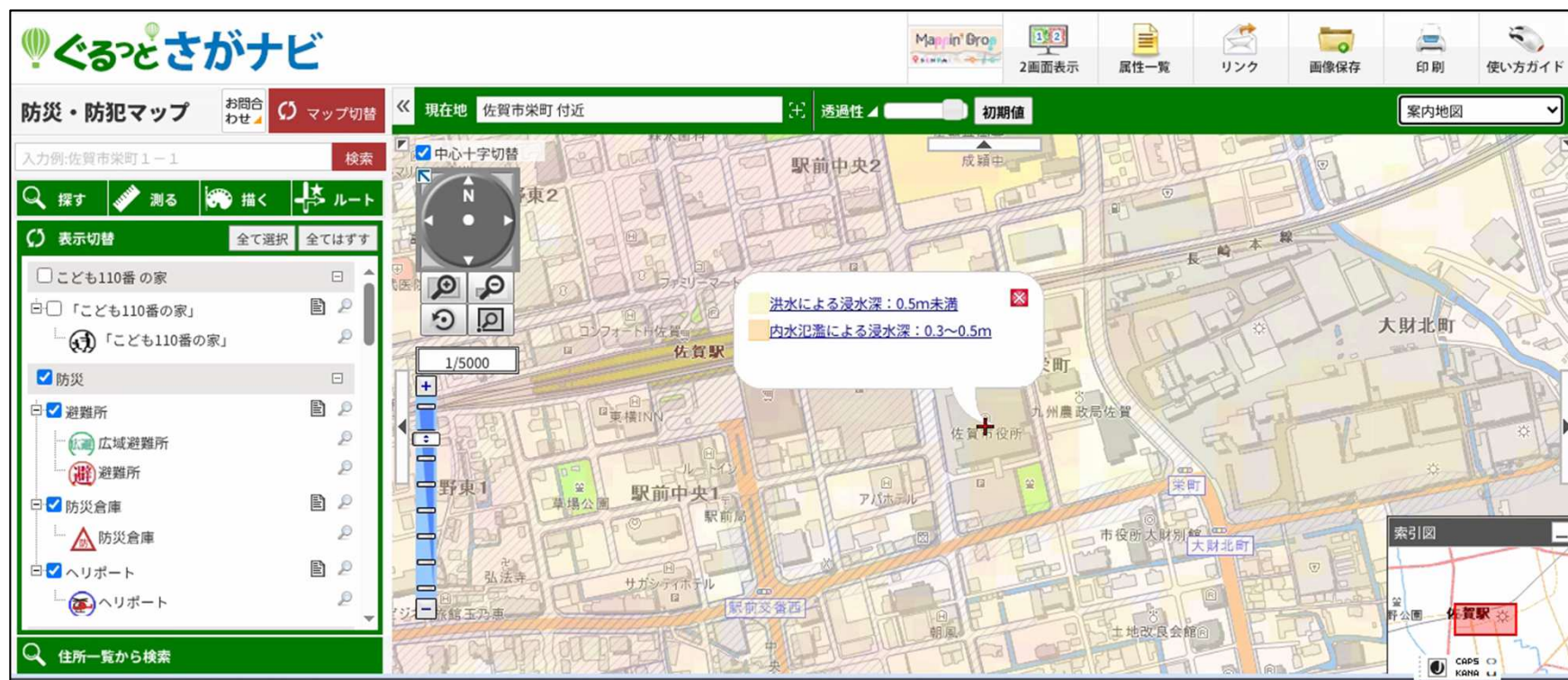
# 要配慮者利用施設における避難確保の重要性

- 浸水想定区域、土砂災害警戒区域、(津波災害警戒区域内)に位置し、佐賀市地域防災計画に定められた施設には、洪水・雨水出水・土砂災害・(高潮・津波)に対する**避難確保計画を作成し、佐賀市に報告することが義務付けられています。**
- また、年1回以上**訓練を実施し、その結果を佐賀市に報告することが義務付けられています。**



# 避難確保計画作成のための事前準備

- ・「佐賀市HPのぐるっとさがナビ」や「ハザードマップ」で施設の水害危険性を確認しましょう。
- ・国土交通省の「ハザードマップポータルサイト」の「重ねるハザードマップ」や「浸水ナビ」では、想定される浸水深、浸水継続時間などを確認することができます。



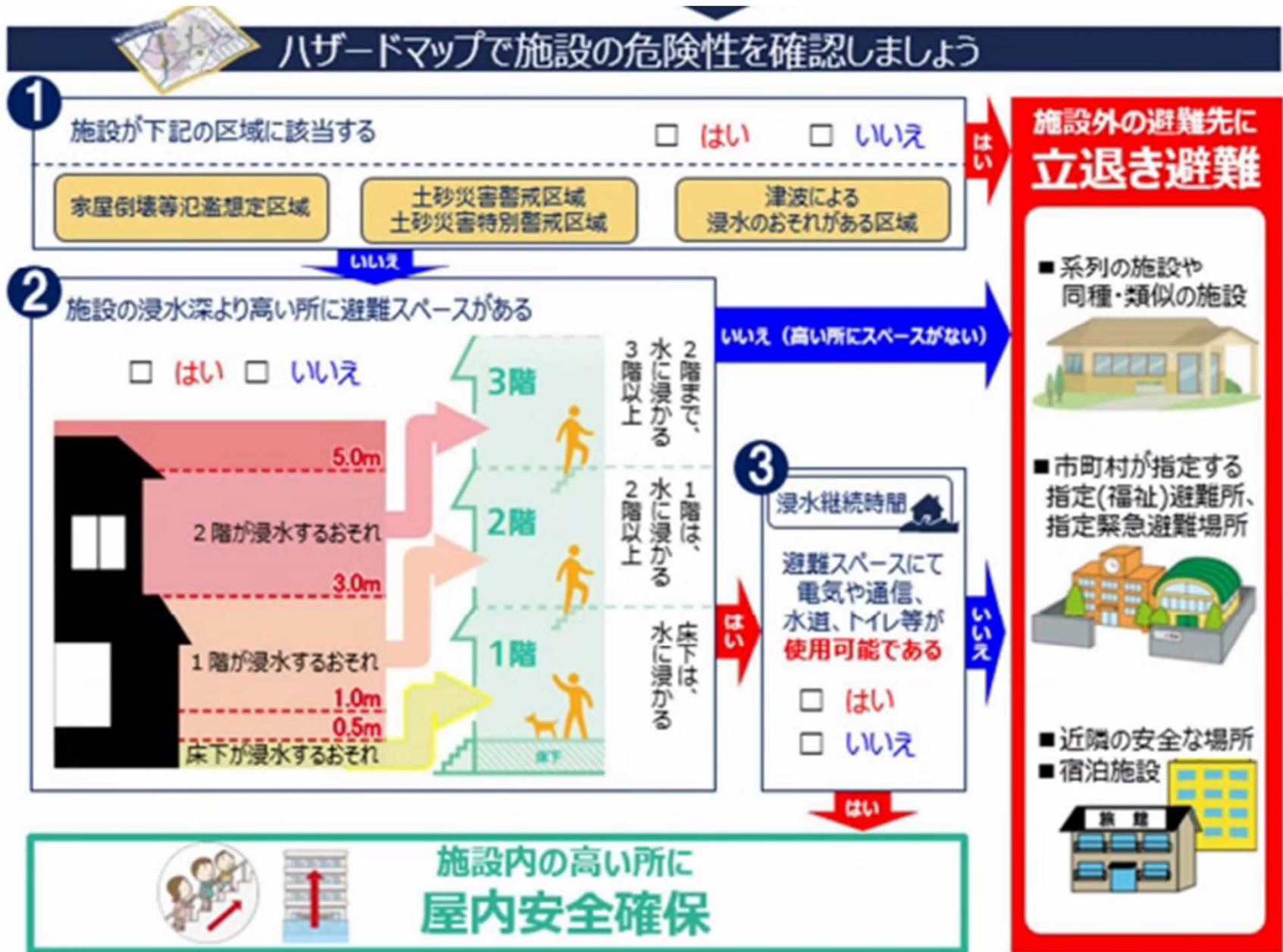
※ぐるっとさがナビ・・・佐賀市公式ホームページ(トップページ)

→ 目的から探す(地図サービス)

→ 防災・防犯マップ → 利用許諾(同意) → ぐるっとさがナビ

# 避難確保計画作成のための事前準備

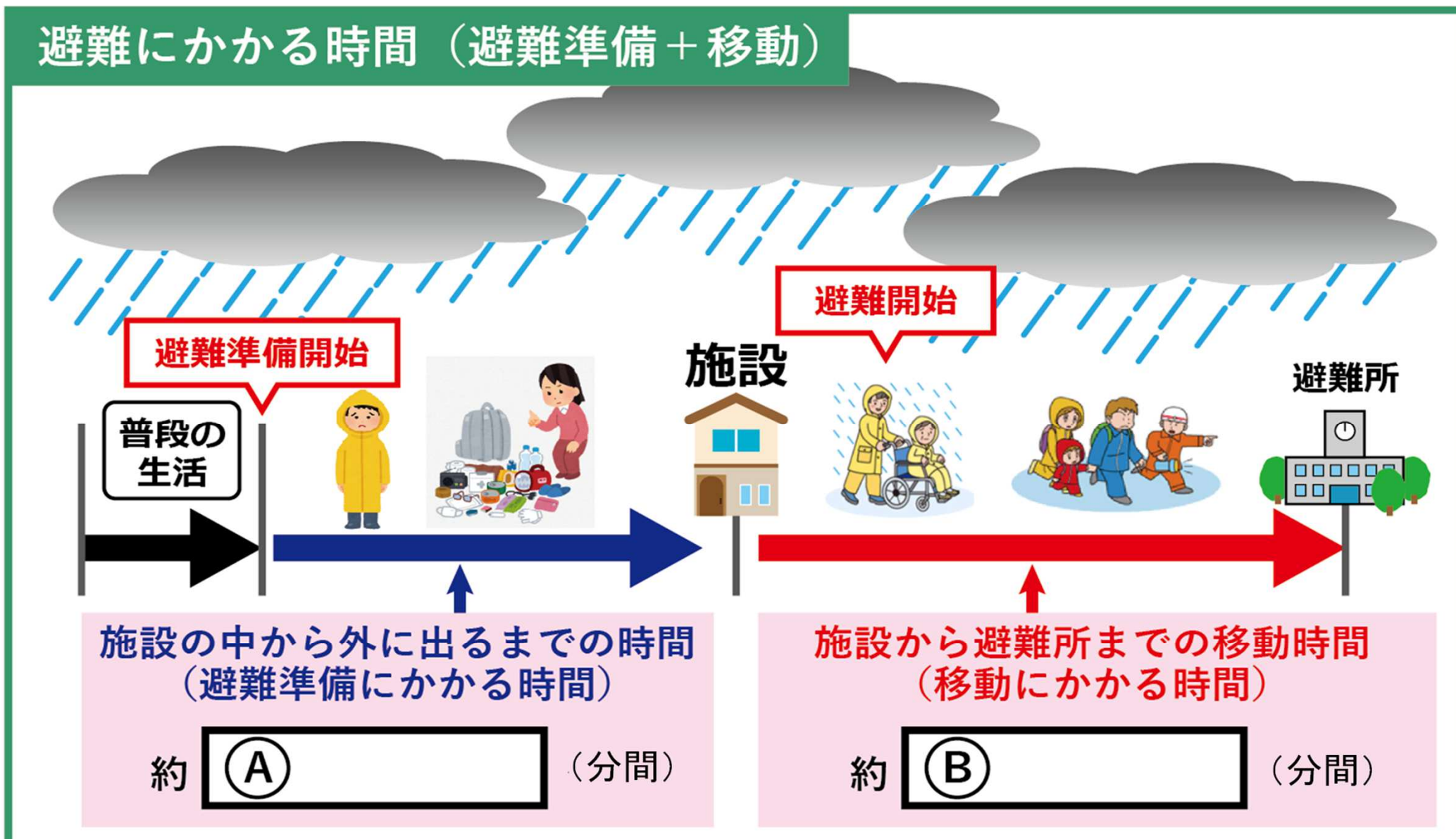
施設の災害リスクを確認し、避難先を検討しましょう。



# 避難確保計画作成のための事前準備

避難にかかる時間を踏まえ、避難のタイミングを検討しましょう。

避難にかかる時間（避難準備＋移動）



施設の中から外に出るまでの時間  
(避難準備にかかる時間)

約

①

(分間)

施設から避難所までの移動時間  
(移動にかかる時間)

約

②

(分間)

# 避難確保計画作成のための事前準備(避難情報)

		佐賀市が発令	気象庁が発表	
警戒レベル	住民がとるべき行動	避難の情報	雨の情報	川の情報
レベル4までに必ず避難	5 命を守って!	緊急安全確保	大雨特別警報	氾濫発生情報
	4 危険場所から避難	避難指示	土砂災害警戒情報	氾濫危険情報
	3 高齢者など避難	高齢者等避難	大雨・洪水警報	氾濫警戒情報
	2 避難方法確認	—	大雨・洪水注意報	氾濫注意情報
	1 最新情報に注意	—	早期注意情報	—

雨の情報のレベル3以上と川の情報「レベル相当」情報  
高潮警報・高潮特別警報は「レベル4相当」

出典：NHK記事を加工

**※緊急安全確保は発表されないことがあります。**

# 避難確保計画(ひな形)の説明(表紙)

「対象災害選択シート」			
・対象となる災害を選んでください。 ・自衛水防組織の有無を選んでください。			
入力項目	入力セル		
(対象災害)			
洪水	<input checked="" type="radio"/>	○：対象、×：対象外	○/×
雨水出水	<input type="radio"/>	○：対象、×：対象外	○/×
高潮	<input type="radio"/>	○：対象、×：対象外	○/×
津波	<input type="radio"/>	○：対象、×：対象外	○/×
土砂災害	<input type="radio"/>	○：対象、×：対象外	○/×
(自衛水防組織)			
自衛水防組織	<input type="radio"/>	○：有り、×：無し	○/×

対象災害選択シート 作業シート +

対象災害シートで、対象となる災害を選んでください。

## 社会福祉施設 避難確保計画

対象災害：水害（洪水）

【施設名：  】

令和 年  月作成

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式編 目次)

## 自衛水防組織を設置する場合

	項目	様式等	ページ
1	計画の目的	様式1	1
2	施設の概要	様式1	1
3	施設が有する災害リスク	様式1	1
4	防災体制	様式2	2~6
5	情報収集・伝達	様式3	7
6	避難誘導	様式4	8
7	避難に必要な設備の整備	様式5	9
8	避難に必要な装備品や備蓄品の整備	様式5	9
9	防災教育及び訓練の実施に関する事項	様式6	10
#	自衛水防組織の業務に関する事項	様式7	11
#	利用者緊急連絡先一覧表	様式8	12
#	緊急連絡網	様式9	13
#	外部機関等の緊急連絡先一覧表	様式10	13
#	対応別避難誘導一覧表	様式11	14
-	自衛水防組織活動要領	別添	16
-	自衛水防組織の編成と任務	別表1	17
-	自衛水防組織装備品リスト	別表2	17
-	避難先までの避難経路図	別紙1	18
-	施設建物内の避難経路図	別紙2	19
-	タイムライン	別紙3	20

## 自衛水防組織を設置しない場合

	項目	様式等	ページ
1	計画の目的	様式1	1
2	施設の概要	様式1	1
3	施設が有する災害リスク	様式1	1
4	防災体制	様式2	2~6
5	情報収集・伝達	様式3	7
6	避難誘導	様式4	8
7	避難に必要な設備の整備	様式5	9
8	避難に必要な装備品や備蓄品の整備	様式5	9
9	防災教育及び訓練の実施に関する事項	様式6	10
#	利用者緊急連絡先一覧表	様式8	12
#	緊急連絡網	様式9	13
#	外部機関等の緊急連絡先一覧表	様式10	13
#	対応別避難誘導一覧表	様式11	14
#	防災体制一覧表	様式12	15
-	避難先までの避難経路図	別紙1	18
-	施設建物内の避難経路図	別紙2	19
-	タイムライン	別紙3	20

自衛水防組織の設置の有無に応じて、赤枠の様式を作成し、佐賀市へ提出してください。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式1)

様式 1

## 1 計画の目的

この計画は、本施設の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。  
また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、洪水に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

関連法:水防法

## 2 施設の概要

利用形態	通所	入所

※利用形態を記載  
※入所は、長期・短期が分かるように記載

建物の階数		階

※建物の階数を記載

施設の人数

	平日				休日			
	利用者		施設職員		利用者		施設職員	
昼間	約	名	約	名	約	名	約	名
夜間	約	名	約	名	約	名	約	名

※利用者数は最大の利用者数を記載(おおよその利用者数でもよい)  
※昼間は通所部門と入所部門の合計人数を記載  
※夜間は入所部門の人数を記載

様式 1

## 1 計画の目的

この計画は、本施設の利用者の洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。  
また、作成した避難確保計画に基づいて、安全な避難行動を確実に行うことができるよう、防災教育や訓練を行い、施設の職員や利用者に対して、洪水に関する知識を深めるとともに、訓練等を通して課題等を抽出し、必要に応じてこの計画を見直ししていくものとする。

関連法:水防法

## 2 施設の概要

利用形態	通所	入所
	○	×

※利用形態を記載  
※入所は、長期・短期が分かるように記載

建物の階数	1	階

※建物の階数を記載

施設の人数

	平日				休日				
	利用者		施設職員		利用者		施設職員		
昼間	約	10	名	約	5	名	約	0	名
夜間	約	0	名	約	1	名	約	0	名

※利用者数は最大の利用者数を記載(おおよその利用者数でもよい)  
※昼間は通所部門と入所部門の合計人数を記載  
※夜間は入所部門の人数を記載

- ①対象災害シートで対象災害を選択すると、計画の目的が表示されます。
- ②平日と休日、昼間と夜間に利用者数と施設職員数を分けて記載してください。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式1)

## 3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

水害(洪水、雨水出水、高潮、津波)

洪水浸水想定区域 (洪水)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	
		浸水継続時間	
		家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無	
		<input type="checkbox"/> 該当 <input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	
雨水出水浸水想定区域 (雨水出水)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	
		浸水継続時間	
高潮浸水想定区域 (高潮)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	
		浸水継続時間	
津波災害警戒区域 (津波)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 基準水位	
		最大浸水深	
		津波到達時間	

土砂災害

土砂災害特別警戒区域	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当(以下の該当する分類に☑)
土砂災害警戒区域		
		<input type="checkbox"/> がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)
		<input type="checkbox"/> 土石流
		<input type="checkbox"/> 地すべり(地滑り)

### ● 計画の報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

### ● 計画の見直し

避難訓練の結果や社会情勢の変化に伴い、定期的に見直すものとする。

## 3 施設が有する災害リスク

施設において想定されている災害の種別や災害の大きさ等を記載しましょう。

水害(洪水、雨水出水、高潮、津波)

洪水浸水想定区域 (洪水)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	0.5m~3m
		浸水継続時間	1日~3日未満
		家屋倒壊等氾濫想定区域の該当の有無	
		<input checked="" type="checkbox"/> 該当 <input type="checkbox"/> 該当なし	
雨水出水浸水想定区域 (雨水出水)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input checked="" type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	0.5m~1m
		浸水継続時間	12時間~1日未満
高潮浸水想定区域 (高潮)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 最大浸水深	
		浸水継続時間	
津波災害警戒区域 (津波)	<input type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当 基準水位	
		最大浸水深	
		津波到達時間	

土砂災害

土砂災害特別警戒区域	<input checked="" type="checkbox"/> 該当なし	<input type="checkbox"/> 該当(以下の該当する分類に☑)
土砂災害警戒区域		
		<input type="checkbox"/> がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)
		<input type="checkbox"/> 土石流
		<input type="checkbox"/> 地すべり(地滑り)

### ● 計画の報告

計画を作成又は必要に応じて見直し・修正をしたときは、遅滞なく、当該計画を市町村長へ報告する。

### ● 計画の見直し

避難訓練の結果や社会情勢の変化に伴い、定期的に見直すものとする。

施設の災害リスクを「ぐるっとさがナビ」「ハザードマップポータルサイト」「浸水ナビ」で確認してください。

※現時点では、高潮及び津波に関する事項は記載不要です。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式2)

洪水または雨水出水

## 4 防災体制

様式2

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮		情報連絡班 ※情報収集や伝達		避難誘導班 ※利用者の避難支援		装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備	
	責任者	名	責任者	名	責任者	名	責任者	名
警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを 高める段階	状況把握、指揮		気象情報等収集		(避難誘導体制の確認)		[避難に必要な設備や装備品、備品等、 避難先への持ち出し品等を確認し準備]	
	体制確立の判断		施設職員への情報伝達		(避難ルートの確認)			
	事前休業の判断							
人数	名	人数	名	人数	名	人数	名	
警戒レベル2 ↓ 注意体制	状況把握、指揮		気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集		避難誘導体制の確認		[避難に必要な設備や装備品、備品等、 避難先への持ち出し品等を確認し準備]	
	施設職員等召集		施設職員や避難支援協力者へ連絡		避難ルートの確認		移動用車両の手配	
	(避難開始判断)				(避難誘導開始)			
人数	名	人数	名	人数	名	人数	名	
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	状況把握、指揮		気象情報、水位情報、避難情報等の収集		避難誘導開始		要配慮者等の装備品の装着	
	避難開始判断		利用者家族等への連絡		避難先への連絡		移動用車両の確保	
			市町村等への連絡		避難先への持ち出し品等を運搬			
人数	名	人数	名	人数	名	人数	名	
警戒レベル4 ↓ 非常体制	状況把握、指揮		市町村等への連絡		避難完了の確認		避難先での持ち出し品等の管理	
	避難先での利用者支援の監督		施設職員への情報伝達		避難先での利用者支援			
	(緊急安全確保の判断)				(緊急安全確保の誘導)			

洪水または雨水出水

## 4 防災体制

役職名を記載

様式2

【防災体制確立時の組織構成と役割分担】

レベル	統括指揮者 ※全体を指揮		情報連絡班 ※情報収集や伝達		避難誘導班 ※利用者の避難支援		装備品等準備班 ※設備や装備品等の点検・準備	
	責任者	名	責任者	名	責任者	名	責任者	名
警戒レベル1 ↓ 災害への心構えを 高める段階	状況把握、指揮		気象情報等収集		(避難誘導体制の確認)		[避難に必要な設備や装備品、備品等、 避難先への持ち出し品等を確認し準備]	
	体制確立の判断		施設職員への情報伝達		(避難ルートの確認)			
	事前休業の判断							
人数	1	名	人数	1	名	人数	3	名
警戒レベル2 ↓ 注意体制	状況把握、指揮		気象情報、水位情報、避難情報、避難先情報等の収集		避難誘導体制の確認		[避難に必要な設備や装備品、備品等、 避難先への持ち出し品等を確認し準備]	
	施設職員等召集		施設職員や避難支援協力者へ連絡		避難ルートの確認		移動用車両の手配	
	(避難開始判断)				(避難誘導開始)			
人数	1	名	人数	1	名	人数	3	名
警戒レベル3 ↓ 警戒体制	状況把握、指揮		気象情報、水位情報、避難情報等の収集		避難誘導開始		要配慮者等の装備品の装着	
	避難開始判断		利用者家族等への連絡		避難先への連絡		移動用車両の確保	
			市町村等への連絡		避難先への持ち出し品等を運搬			
人数	1	名	人数	1	名	人数	3	名
警戒レベル4 ↓ 非常体制	状況把握、指揮		市町村等への連絡		避難完了の確認		避難先での持ち出し品等の管理	
	避難先での利用者支援の監督		施設職員への情報伝達		避難先での利用者支援			
	(緊急安全確保の判断)				(緊急安全確保の誘導)			

責任者欄は、個人名ではなく、役職名等を記載してください。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式2)

防災体制一覧表 ⇒ 様式12

<p><b>警戒レベル1</b> ↓ 災吉への心構えを高める段階</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・警報級の可能性(大雨警報または暴風警報)「中」または「高」が発表された場合</li> <li>・台風の接近が予想されている場合</li> </ul>
<p><b>警戒レベル2</b> ↓ 注意体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・大雨または洪水注意報が発表された場合</li> <li>・〇〇川氾濫注意情報が発表された場合</li> </ul>
<p><b>警戒レベル3</b> ↓ 警戒体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・高齢者等避難が発令された場合</li> <li>・大雨または洪水警報が発表された場合</li> <li>・〇〇川氾濫警戒情報が発表された場合</li> </ul>
<p><b>警戒レベル4</b> ↓ 非常体制</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・避難指示が発令された場合</li> <li>・〇〇川氾濫危険情報が発表された場合</li> <li>・雨水出水氾濫危険情報が発表された場合</li> </ul>

浸水ナビを参考にしてください。

● 事前休業の判断について

早期注意情報(警報級の可能性)の「中」または「高」が発表されている場合や大型台風の襲来が予想される場合、公共交通機関の計画的な運休が予定される場合、翌日の通所部門を臨時休業とする。  
または午前8時の時点で、佐賀市に以下のいずれかが発令されている場合は、通所部門を臨時休業とする。

事前休業の判断基準となる防災気象情報等

- 高齢者等避難
- 暴風警報又は特別警報
- 大雨警報又は特別警報
- 洪水警報

※開業時間と利用者の通所にかかる時間も考慮して、休業の判断をする。

氾濫すると施設が浸水する可能性がある河川名を記載してください。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式3)

様式 3

## 5 情報収集・伝達

### (1) 情報収集

収集する主な情報及び収集方法は、以下のとおりとする。

	収集すべき情報	入手先
共通の 情報	【防災気象情報(気象庁)】 ・早期注意情報(警報級の可能性)	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・防災アプリ、佐賀市のメール通知サービス等
	【避難情報(市町村)】 ・警戒レベル3 高齢者等避難 ・警戒レベル4 避難指示 ・警戒レベル5 緊急安全確保	・テレビ、ラジオ ・佐賀市のHP ・佐賀市のメール通知サービス ・緊急速報メール 等
	【避難所の開設状況(市町村)】 指定緊急避難場所や 福祉避難所の開設状況	・テレビ、ラジオ ・佐賀市のHP ・佐賀市へ電話問い合わせ 等
	道路の通行止め情報	・日本道路交通情報センターのHP ・佐賀市HP 浸水情報 等
洪水	・洪水注意報、洪水警報 ・大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・キキクル(大雨・洪水警報の危険度分布) ・洪水予報 ・氾濫注意情報、氾濫警戒情報 ・氾濫危険情報、氾濫発生情報	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・気象庁HP  ・川の防災情報のHP ・川の防災情報のHP
雨水 出水	・大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・雨水出水氾濫危険情報 (水位周知下水道において発表される情報)	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・佐賀県・佐賀市のHP ・佐賀市のメール通知サービス 等
土砂 災害	・大雨注意報、大雨警報、大雨特別警報 ・土砂災害警戒情報 ・土砂キキクル(大雨警報(土砂災害)の危険度分布)	・テレビ、ラジオ、気象庁HP ・テレビ、ラジオ、気象庁HP、都道府県のHP ・気象庁HP

共通の情報と該当する災害リスクのみを記載してください。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式3)

(2) 情報伝達					
警戒レベル	対象情報	主な入手先	伝達内容	情報伝達の流れ	
				発信者	情報伝達先
警戒レベル 1	早期注意情報	インターネット (気象庁HP)	大雨の警戒級の可能性「高」が発表されました。災害への心構えを高める段階です。	情報連絡班	施設職員
	事前休業のお知らせ	統括指揮者の判断を確認	〇〇日は、大雨が予想されていますので、施設を休業することになりました。	情報連絡班	施設利用者の家族
警戒レベル 2	職員への招集連絡	統括指揮者の判断を確認	大雨注意報が発表されましたので施設に参集してください。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	洪水注意報	インターネット (気象庁HP)	洪水注意報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	氾濫注意情報	インターネット (川の防災情報)	<b>〇〇川に氾濫注意情報が発表されました。注意体制をとる段階です。</b>	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	大雨注意報	インターネット (気象庁HP)	大雨注意報が発表されました。注意体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル 3	高齢者等避難	市役所からの電話	高齢者等避難が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難先の開設情報	市役所へ電話	避難先の〇〇は開設されています。	情報連絡班	避難誘導班
	避難開始の連絡	避難誘導班に確認	<b>〇〇では、〇〇時〇〇分に避難を開始しました。</b>	情報連絡班	市役所の担当部署
	洪水警戒	インターネット (気象庁HP)	洪水警戒が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	氾濫警戒情報	インターネット (川の防災情報)	<b>〇〇川に氾濫警戒情報が発表されました。警戒体制をとる段階です。</b>	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
警戒レベル 4	大雨警戒	インターネット (気象庁HP)	大雨警戒が発表されました。警戒体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難指示	市役所からの電話	避難指示が発令されました。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	避難完了の連絡	避難誘導班に確認	<b>〇〇では、〇〇時〇〇分に避難を完了しました。</b>	情報連絡班	市役所の担当部署
	氾濫危険情報	インターネット (川の防災情報)	<b>〇〇川に氾濫危険情報が発表されました。非常体制をとる段階です。</b>	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者
	土砂災害警戒情報	インターネット (川の防災情報)	土砂災害警戒情報が発表されました。非常体制をとる段階です。	情報連絡班	施設職員 避難支援協力者

利用者緊急連絡先一覧表 ⇒ 様式8  
 緊急連絡網 ⇒ 様式9  
 外部機関等の緊急連絡先一覧表 ⇒ 様式10

河川名等を記載してください。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式4)

該当する災害のみを記載してください。

## 6 避難誘導

### (1) 避難先、移動距離及び避難方法

様式4

- ①原則、施設利用者の適切な支援を提供できる垂直避難をする。
- ②避難する時間が確保できない場合は、指定緊急避難場所に立退き避難をする。

洪水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同規模施設	A会(系列グループホーム)	1,000	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4台 車椅子	1時間	警戒レベル4 大被害等避難
指定緊急避難場所	B小学校(校舎2階以上)	500	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4台 車椅子	45分	警戒レベル4 大被害等避難
近隣の安全な場所	OOビル	200	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4台 車椅子	30分	警戒レベル4 大被害等避難
屋内安全確保	本施設2階OO室	50	エレベーター、車椅子、ストレッチャ			15分	警戒レベル4 大被害等避難

雨水出水	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同規模施設	A会(系列グループホーム)	1,000	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4台 車椅子	1時間	警戒レベル4 大被害等避難
指定緊急避難場所	B小学校(校舎2階以上)	500	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4台 車椅子	45分	警戒レベル4 大被害等避難
近隣の安全な場所	OOビル	200	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/>	4台 車椅子	30分	警戒レベル4 大被害等避難
屋内安全確保	本施設2階OO室	50	エレベーター、車椅子、ストレッチャ			15分	警戒レベル4 大被害等避難

高潮	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同規模施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
屋内安全確保		m					

津波	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同規模施設		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
指定緊急避難場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		
近隣の安全な場所		m	<input type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	台		

避難先、避難の方法、避難に要する時間、避難開始基準を記載してください。なお、高潮、津波に関しては記載の必要はありません。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式4)

土砂災害	避難先名称	移動距離	避難方法			避難に要する時間	避難開始基準
			徒歩	車両	その他機材		
系列施設や他の同種類似施設	A会(系列グループホーム)	1,000	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 4台	手椅子	1時間	完成レベルE 大津波等避難
指定緊急避難場所	C中学校	650	<input type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 4台	手椅子	45分	完成レベルE 大津波等避難
近隣の安全な場所	OOビル	200	<input checked="" type="checkbox"/>	<input checked="" type="checkbox"/> 4台	手椅子	30分	完成レベルE 大津波等避難

以下に該当するか検討の上、屋内安全確保を選択するかどうかを慎重に判断する

- ※家屋倒壊等氾濫想定区域、土砂災害警戒区域、土砂災害特別警戒区域、津波による浸水のおそれがある区域に存していないこと
- ※浸水しない居室があること
- ※一定期間浸水することにより生じる可能性がある支障を許容できること

## ・緊急安全確保

急激に災害が切迫することにより、避難確保計画に定めた場所への避難を安全にできないような、過酷な事象に遭遇した場合は「**緊急的に移動する場所を記載**」に緊急的に移動する

## (2) 避難経路

避難先までの避難経路は、【施設周辺の避難地図】【施設建物内の避難経路図】のとおりとする。避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じ見直すものとする。

【施設周辺の避難地図】⇒別紙1、【施設建物内の避難経路図】⇒別紙2  
 対応別避難誘導一覧表 ⇒様式11

4

「施設から避難先までの避難経路図」(別紙1)(水平避難の場合)  
 「施設建物内の避難経路図(別紙2)(※垂直避難の場合)  
 を作成してください。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式5)

## 7 避難に必要な設備の整備

記載例  
様式5

避難誘導の際に使用する設備等については、下表に示すとおりである。これらの設備等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難に必要な設備等			
分類	設備等	数量	設置場所、保存場所
通常の設備	エレベーター	1	施設中央部(1~3階)
	上下階の移動のできる大型スロープの設置	0	—
	車椅子	10	各階の職員エリア
	その他(担架)	3	各階の職員エリア
緊急時の設備	停電対策としての非常用電源の設置	1	2階機械室
	土のう	20	1階備品倉庫
	止水板	0	—
	階段昇降機の設置	3	1階備品倉庫
	その他(非常用サイレン)	3	屋上

避難誘導の際に使用する設備等について記載してください。

## 8 避難に必要な装備品や備蓄品の整備

避難に必要な装備品や備蓄品等の例については、下表に示すとおりである。これらの装備品や備蓄品等については、日頃からその維持管理に努めるものとする。

避難に必要な装備品や備蓄品等			
分類	装備品や備蓄品等	数量	設置場所、保存場所
情報収集・伝達	テレビやラジオ	1	受付
	インターネットに接続したパソコンやタブレット端末	10	受付、各階の職員エリア
	電話やファックス	5	受付、各階の職員エリア
	携帯電話やスマートフォン	10	各職員
	電池や非常用電源	1	2階機械室
避難誘導	名簿(施設利用者)	10	受付、各階の職員エリア
	案内旗	5	1階備品倉庫
	ピブス	30	1階備品倉庫
	懐中電灯	5	1階備品倉庫
	ハンドマイク	3	1階備品倉庫
	雨具	20	1階備品倉庫
	ライフジャケットやヘルメット	20	1階備品倉庫
	避難ルートを示したマップ	5	受付、各階の職員エリア
	救急用品	5	受付、各階の職員エリア
	移動用の車両	5	車庫
避難先	水や食糧	3日/人	1階備品倉庫
	衛生用品や衣料品	3日/人	1階備品倉庫
	電池や携帯充電器	10	1階備品倉庫
その他	防寒着・毛布	20	1階備品倉庫
	携帯トイレ	30	1階備品倉庫

避難に必要な装備品や備蓄品等について記載してください。

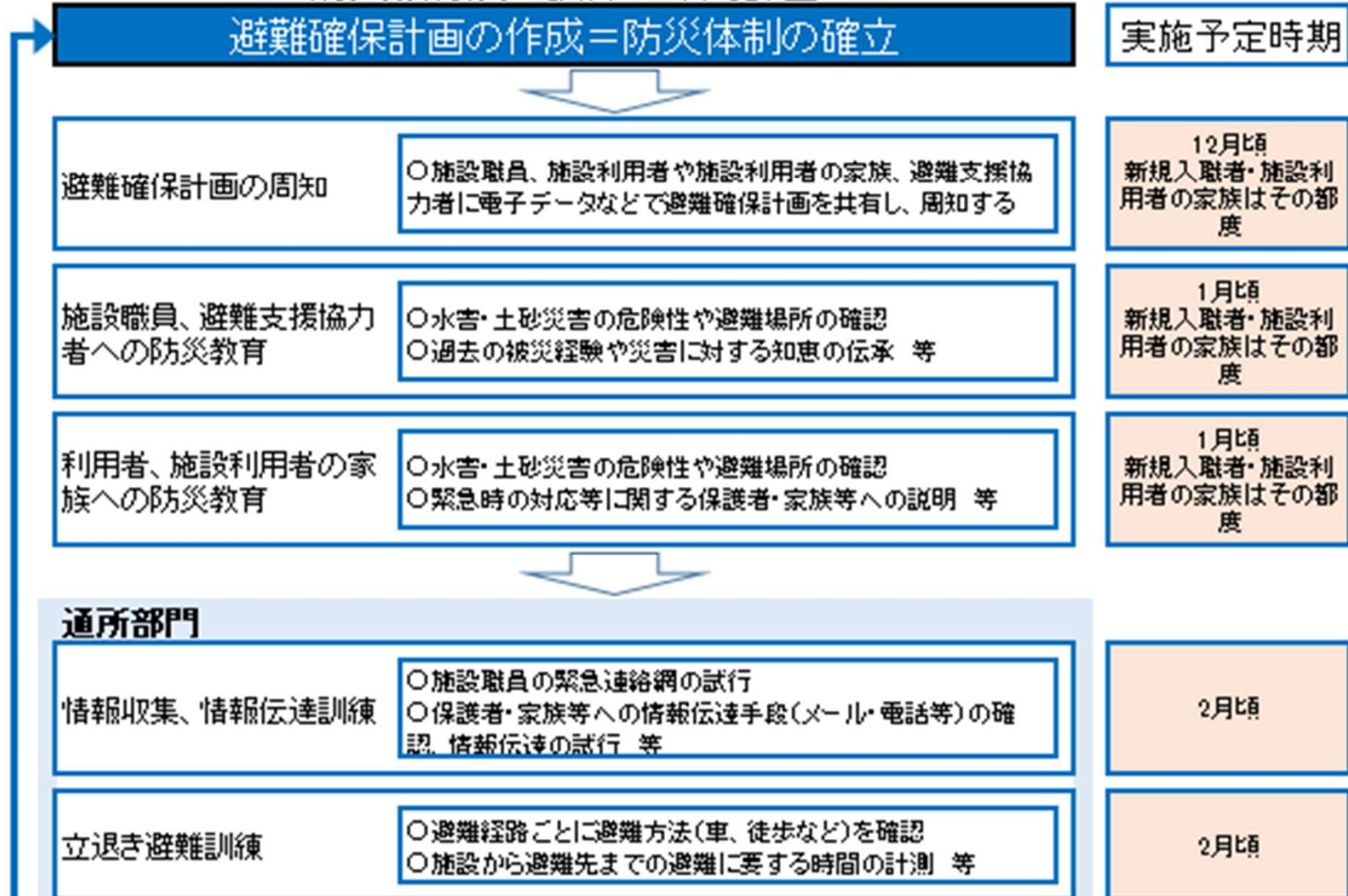
# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式6)

既存の消防計画等がある場合は、それに追加してもよい。

記載例  
様式6

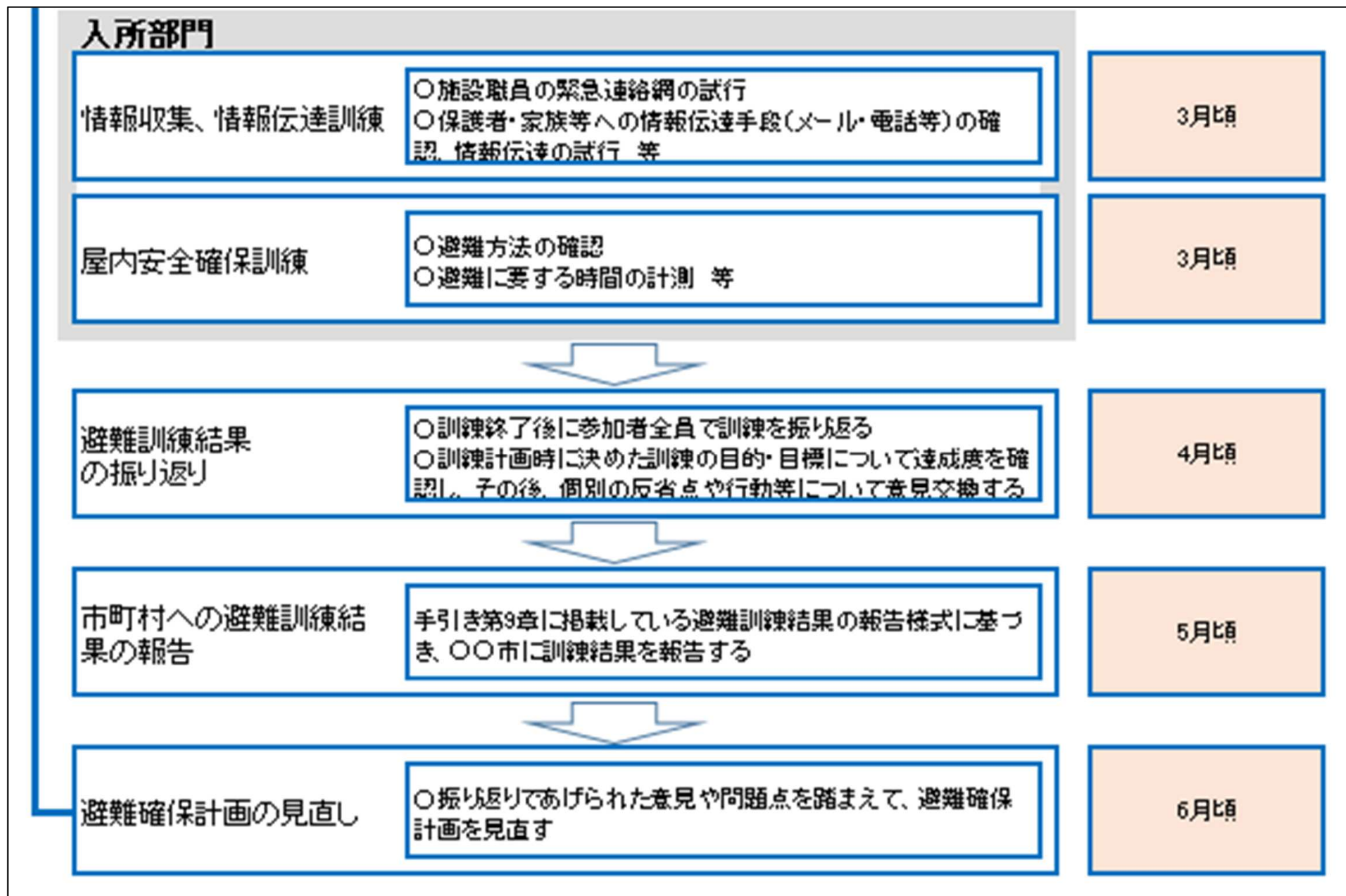
## 9 防災教育及び訓練の実施に関する事項

### 防災教育及び訓練の年間計画



実施時期を記載してください。(例)○月頃

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式6)



# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式10)

既存の名簿等がある場合は、それを用いてもよい。

様式10

## 13 外部機関等の緊急連絡先一覧表

	連絡先	備考
市町村(防災担当)	0952-40-7034	佐賀市 危機管理防災課
市町村(福祉担当)		
消防署		
警察署		
避難誘導等の支援者		
医療機関		
A会(系列グループホーム)		
B小学校		

関係する外部機関等の緊急連絡先を記載してください。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(様式12)

既に防災体制を確立している場合は、それを活用してもよい。

15 防災体制一覧表

記載例  
様式12

統括指揮者 ( 施設長 ) ( 代行者 事務長 )

役割		担当者名
責任者		〇〇〇〇
心構え	・気象情報等収集	〇〇〇〇
心構え	・施設職員への情報伝達	〇〇〇〇
検査	・気象情報、水位情報、避難情報、避難免情報等の収集	〇〇〇〇
検査	・施設職員や避難支援協力者への連絡	〇〇〇〇
警戒	・気象情報、水位情報、避難情報等の収集	〇〇〇〇
警戒	・利用者家族等への連絡	〇〇〇〇
手配	・市町村等への連絡	〇〇〇〇
		人数( 〇   名

役割		担当者名
責任者		〇〇〇〇
検査	・避難誘導体制の確保	〇〇〇〇
検査	・避難ルートの確保	〇〇〇〇
警戒	・避難誘導開始	〇〇〇〇
手配	・避難完了の確保	〇〇〇〇
手配	・避難先での利用者支援	〇〇〇〇
手配	・【緊急安全確保の確保】	〇〇〇〇
		人数( 〇   名

役割		担当者名
責任者		〇〇〇〇
心構え	・避難に必要な設備や設備品、備蓄品、避難先への持ち出し品等を点検し準備	〇〇〇〇
検査	・移動用車両の手配	〇〇〇〇
警戒	・収容用車両等の設備品の点検	〇〇〇〇
警戒	・移動用車両の確保	〇〇〇〇
警戒	・避難先への持ち出し品等を運搬	〇〇〇〇
手配	・避難先での持ち出し品等の管理	〇〇〇〇
		人数( 〇   名

責任者欄は、個人名ではなく、役職名等を記載してください。

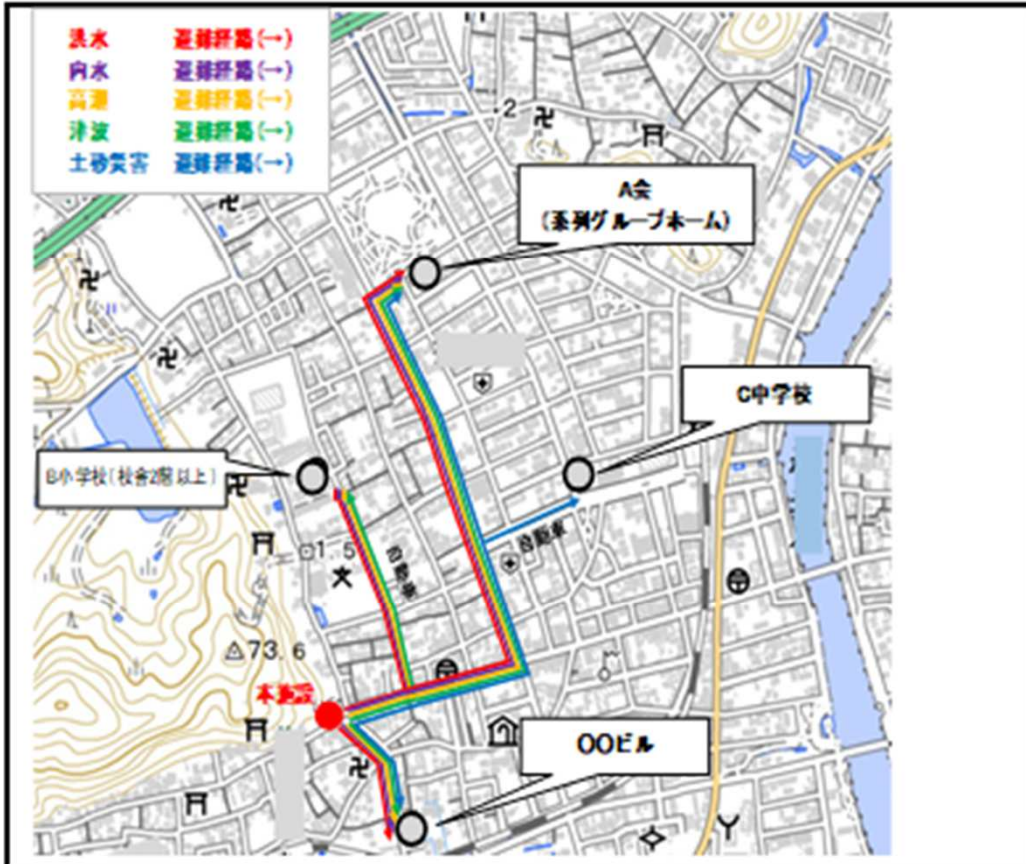
# 避難確保計画(ひな形)の説明(別紙1、別紙2)

記載例  
別紙1

## 【避難先までの避難経路図】

洪水時・雨水出水時・高潮時・津波の発生時・土砂災害の発生時の避難先、避難経路は以下のものとする。

	立派な避難					
	避難先1	避難に要する時間	避難先2	避難に要する時間	避難先3	避難に要する時間
洪水	0	0	0	0	0	0
雨水出水	0	0	0	0	0	0
高潮	0	0	0	0	0	0
津波	0	0	0	0	0	0
土砂災害	避難先名林	に受ける	0	0	0	0



※施設的位置、避難先の位置、避難方法(徒歩、自乗平等)、避難に要する時間等を記載してください。

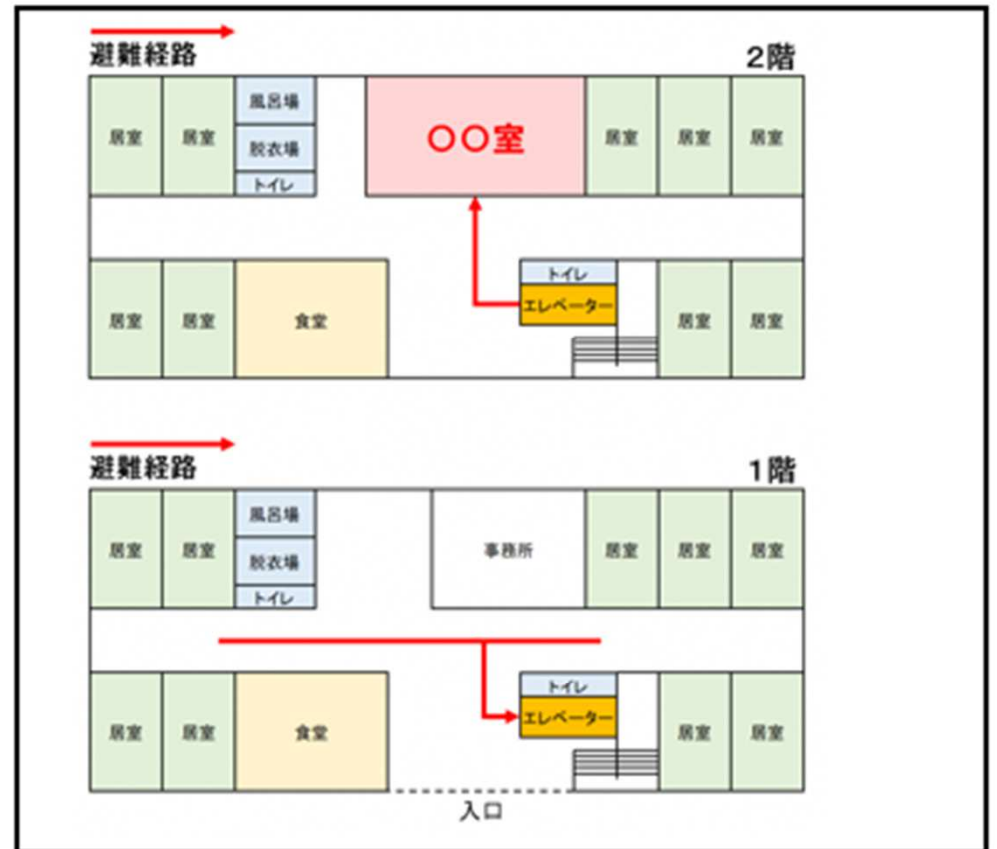
避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じて見直しするものとする。

記載例  
別紙2

## 【施設建物内の避難経路図】

洪水時・雨水出水時・高潮時・土砂災害の発生時の施設建物内の避難経路は以下のものとする。

	屋内安全確保	避難に要する時間
洪水	本棟数2箇〇〇室	15分
雨水出水	本棟数2箇〇〇室	15分
高潮	本棟数2箇〇〇室	15分



※施設建物内の避難経路図を記載してください。

避難先は、避難訓練等により避難できることを確かめ、必要に応じて見直しするものとする。

# 避難確保計画(ひな形)の説明(その他)

- 自衛水防組織を組織していない場合は、以下の様式は作成不要です。

様式7 10 自衛水防組織の業務に関する事項

別添 自衛水防組織活動要領

別表1 自衛水防組織の編成と任務

別表2 自衛水防組織装備品リスト

- 下記の様式は個人名等になりますので、次の文言を記載してください

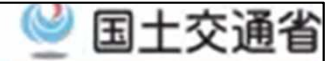
様式8 利用者緊急連絡先一覧表 → 「別紙利用者名簿による。」と記載

様式9 緊急連絡網 → 「別紙緊急連絡網による。」と記載

様式11 対応別避難誘導一覧表 → 「別紙利用者名簿による。」と記載

# 既存の計画に追加する形で避難確保計画を作成する場合

## 既存の計画への追記による避難確保計画の作成



### 消防計画に追記する例 ..以下の8事項を追記する

**①計画の目的に「洪水時の避難」を追記**  
 消防計画の第1条(目的)に、水防法第15条の3第1項に基づく洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を加える。

洪水時の避難確保計画は、消防計画などの既存の計画に、洪水時に係る体制・対応を追加して作成できます。  
 (目的)  
 第〇条 この計画は、消防法第8条第1項の規定に基づき、〇〇〇〇について必要な事項を定め、火災、地震及びその他の災害の予防及び被害の軽減を図ることを目的とする。  
 また、水防法第15条の3第1項に基づき、洪水時の円滑かつ迅速な避難の確保を図ることを目的とする。

**②自衛水防組織の項目を追加(手引き P21~P23参照)**  
 自衛消防組織の記載を参考に、洪水予報等の情報収集、洪水予報等の情報収集、洪水時における避難誘導、構成員への教育及び訓練、その他水災の軽減のため必要な業務の任務を記載。 ※なお、各施設の判断で自衛消防組織など既存の枠組みの活用も可

(自衛水防の組織と任務分担)  
 第〇条 〇〇〇〇の自衛水防組織として△△△を統括管理者とし、次の任務分担により自衛水防組織を別表〇のとおり指定する。

係別	任務内容
統括管理者	自衛水防隊の各係員に対し、指揮、命令を行う。避難状況の把握を行う。自衛水防隊の各係員に対する教育及び訓練を行う。
情報伝達係	洪水時における洪水予報等の情報収集を行う。関係者及び関係機関との連絡を行う。
避難誘導係	避難誘導にあたる。来避難者、要救助者の確認を行う。避難器具の設定、操作にあたる。

**③洪水時の防災体制の項目を追加(手引き P4~7参照)**  
 「洪水時の防災体制」の項目を追加し、洪水時の体制、体制区分ごとの活動内容、体制区分ごとの確立基準、体制区分ごとの活動を実施する要員を記載。

(洪水時の活動)  
 第〇条 洪水時においては、次の防災体制をとる。

体制	体制確立の判断時期	任務内容	対応要員
注意体制	〇〇情報発表	情報収集、関係職員召集	情報伝達係
警戒体制	〇〇情報発表 〇〇地区避難準備・高齢者等避難開始命令	情報収集、資器材準備、要救助者の避難誘導、..	情報伝達係、避難誘導係、..
非常体制	〇〇情報発表 〇〇地区に避難勧告又は避難指示(緊急)発令	施設全体の避難誘導、..	避難誘導係、..

**④洪水時の避難誘導の項目を追加(手引き P17~19参照)**  
 「洪水時の避難誘導」の項目を追加し、避難場所、避難経路、避難誘導方法を定める。 ※なお、震災時等の避難場所、避難経路が洪水時と同一の場合、これを引用することよい。

(洪水時の避難誘導)  
 第〇条 洪水時の避難場所、避難経路、避難誘導方法については、下記に従う。  
 (1) 避難場所・経路  
 ・第〇条の震災時の避難場所・避難経路に定める通り。  
 ・上記避難場所への避難が困難な場合には、本施設〇棟の2階へ避難し、屋内安全確保を図る。  
 (2) 避難誘導方法  
 ・施設外の避難場所に誘導するときは、避難場所までの順路、道路状況について予め説明する。  
 ・避難する際は、原則として車両等を使用して徒歩とする...等

**⑤避難の確保を図るための施設を追加(手引き P20参照)**  
 洪水予報等の情報収集・伝達及び避難誘導に使用する資機材を記載する。 ※自衛消防組織の装備または震災時等に備えた資機材等の記述がある場合、その他不足する資器材を追記することよい。

(洪水に備えての準備品)  
 第〇条 第〇条の震災に係る準備品に加えて、洪水に備え次の品目を常に使用または持ち出せるよう準備しておき、定期的に点検を行う。

活動の区分	使用する設備又は資器材
情報収集・伝達	テレビ、ラジオ、タブレット、ファックス、携帯電話、懐中電灯、電池、携帯電話用バッテリー
避難誘導	名簿(従業員、利用客等)、案内図、タブレット、携帯電話、懐中電灯、携帯電話用バッテリー、電池式照明器具、電池、携帯電話用バッテリー、ライフジャケット、防災資料 施設内の一時避難のための水・食料・寝具・防寒具

**⑥洪水時に係る教育・訓練の項目を追加(手引き P21参照)**  
 従業員への洪水時を想定した防災教育及び訓練に関する事項を追加する。 ※実情に応じ、各施設の判断で消防計画上実施している教育・訓練をもって代えることができる。

(洪水対策に係る教育及び訓練)  
 第〇条 施設管理者は、次により防災教育及び訓練を行うものとする。

対象者	実施頻度	内容
全従業員	〇〇月	(1) 洪水予報等及び洪水時の避難に係る研修
要入社員	その都度	(2) 情報収集・伝達に係る訓練
自衛水防組織	〇〇月	(3) 避難誘導に係る訓練

既存の計画に追加する形で避難確保計画を作成する場合は、危機管理防災課にご連絡下さい。

# 避難確保計画作成後の提出方法

避難確保計画の作成後、佐賀市に提出する方法は、

- ① 作成した避難確保計画をメールで提出する方法  
メールの場合  
hinankakuhokeikaku@city.saga.lg.jp
- ② 佐賀市役所総務部危機管理防災課の窓口へ直接持参する方法(中棟2階)
- ③ 作成した避難確保計画を郵送で提出する方法  
〒840-8501 佐賀市栄町1番1号  
佐賀市総務部危機管理防災課地域防災係

## 避難確保計画に基づく避難訓練の実施と報告書の提出

作成した避難確保計画に基づき、洪水時等の円滑かつ迅速な避難のための訓練を行った場合、訓練実施報告書を提出してください。

(避難訓練は年1回以上、対象災害:洪水又は土砂災害)

### 【提出物】

訓練実施結果報告書 1部

### 【提出方法】

市役所担当課の窓口を持参または郵送、若しくはメールで提出

メールの場合:

[hinankakuhokeikaku@city.saga.lg.jp](mailto:hinankakuhokeikaku@city.saga.lg.jp)

## 佐賀市公式ホームページ

- 暮らしの情報
- 災害・防災
- 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成等について

### 概要

要配慮者利用施設の避難体制の強化を図るため、平成29年6月に「水防法等の一部を改正する法律（平成29年法律第31号）」が施行されました。今回の法改正により、（洪水・雨水出水・高潮）浸水想定区域内及び土砂災害警戒区域内の要配慮者利用施設の所有者又は管理者に、避難確保計画の作成と避難訓練の実施が義務付けられました。また、令和3年5月に水防法及び土砂災害防止法が改正され、避難訓練の実施報告について義務化されました。

要配慮者利用施設とは、高齢者、障害者、乳幼児等の、防災施策において特に配慮を要する方が利用する施設のことで。

 [要配慮者利用施設の所有者・管理者の皆さまへ【PDFファイル：368.5 KB】](#)

 [参考 要配慮者利用施設の定義【PDFファイル：146.2 KB】](#)

**※随時更新を行いますので、定期的な確認をお願いします。**

[避難確保計画の作成のための資料](#)

[避難確保計画の作成（変更）報告要領](#)

[避難確保計画に基づく訓練の報告要領](#)

## (参考資料)国土交通省ホームページ

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/bousai-gensai-suibou02.html>

➤ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成・活用の手引き

<https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/pdf/tebiki.pdf>

➤ 要配慮者利用施設における避難確保計画の作成と活用について

[https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/pdf/hinankakuho\\_leaflet.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/pdf/hinankakuho_leaflet.pdf)

➤ 要配慮者利用施設における水害からの避難の取り組みの成果事例集

[https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/pdf/r507\\_seikajirei.pdf](https://www.mlit.go.jp/river/bousai/main/saigai/jouhou/jieisuibou/pdf/r507_seikajirei.pdf)